

文教厚生常任委員長報告

文教厚生常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

委員長 森元秀一

議案第21号「令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について」

教育課所管分

委員より、「情報通信ネットワーク構築事業において、ダブルレ

トがまだ全員に行き渡っていないが、将来1人1台になるのは何年ぐらいかかるのか。」との質疑があり、**学務係長**から、「国は2023年までに1人1台を目指す計画となっています。」との答弁が

ありました。

トがまだ全員に行き渡っていないが、将来1人1台になるのは何年ぐらいかかるのか。」との質疑があり、**学務係長**から、「国は2023年までに1人1台を目指す計画となっています。」との答弁が

ありました。また、別の委員より、「公民館用地の購入面積は。」との質疑があり、**教育部長**から、「坂梨公民館前の駐車場のうち、農協が所有する約半分の500平方メートルを今回購入することとで計画しています。」との答弁がありました。

福祉課所管分

委員より、「児童手当の減額について、受給者数の見込みはどうなっていたのか。」との質疑があり、**福祉課長**から、「昨年度実績を基に当初予算を計上します。昨年度が1,520名程度でありましたが、令和2年2月末現在は1,419名

であり、100名程度受給者が減っています。」との答弁がありました。

以上のような審査の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第27号「令和元年度阿蘇市病院事業会計補正予算について」

委員より、「今回の借入れに対する返済計画はどうなっているのか。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、更に借入金が増額するのでは。」との質疑があり、**医療センター事務局長**から、「全員協議会で収支計画の見直しを説明しましたが、その中で返済はできるよう計画を立てています。また、新型コロナウイルス対応で、入院制限や外来診

借入れに対する返済計画はどうなっているのか。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、更に借入金が増額するのでは。」との質疑があり、**医療センター事務局長**から、「全員協議会で収支計画の見直しを説明しましたが、その中で返済はできるよう計画を立てています。また、新型コロナウイルス対応で、入院制限や外来診

療制限により収入が減ることになれば、借入金追加のお願いも含め、今後の展開次第と想っています。」との答弁がありました。

以上のような審査の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。また、別の委員より、「国民健康保険繰出金において、4年間で1人当たり1万円の負担増が新聞等で載っていたが、今の国保財政の状況は。」との質疑があり、**課長**から、「国保財政については、被保険者数が年々減っている中で、1人当たりの医療費は毎年平均3パーセント程度上がっています。今後も厳しい運営状況が続くものと思われまので、健康ポイント事業をはじめ、健康づくり事業を積極的に展開し、医療費抑制を図り、安定的な財政運営を目指しま

議案第28号「令和2年度阿蘇市一般会計予算について」

ほけん課所管分

委員より、「健康ポイント事業については、ポイントの数に応じた商品交換となっているが、品物をもらうより、助成や受診料の減額など様々な面に反映した方がいいのでは。」との質疑があり、**ほけん課長**から、「健康無關心層の方が多くいらっしゃる中、いかに運動に関心をもってもらえ

るかが課題といます。当面は阿蘇の特産品や人間ドック助成券などを想定していますが、助成措置なども含めてインパクトのある魅力的なものを検討していきたいと思えます。」との答弁がありました。



公民館用地

す。」との答弁がありました。

教育課所管分

委員より、「ドローン購入の使用目的と操縦者の育成はどうなっているのか。」との質疑があり、**社会教育係長**から、「九州北部豪雨や熊本地震の経験を踏まえ、文化財等の三次元計測を行い、複雑な部分を三次元で残すことによって、復元等についての詳細なデータを残すものです。また、操縦については、既に講習を受けている学芸員が行い、今後更に講習を受けながら使用できる職員を増員したいと考えています。」との答弁がありました。

市民課所管分

委員より、「今、ごみ袋の不足が問題となっているが、安定供給はどうなっているのか。」

との質疑があり、**市民課長**から、「指定ごみ袋の製作及び販売は、阿蘇広域行政事務組合へ委託し、宮崎県の業者が製造していますので、日頃から安定供給がなされています。今回の新型コロナウイルスの影響によると思われる一時的な品薄対応については、追加発注により順次供給される見込みです。」との答弁がありました。

福祉課所管分

委員より、「地域支援合いセンター事業委託料の内容は。」との質疑があり、**総合福祉係長**から、「社会福祉協議会へ委託し、仮設住宅やみなし仮設住宅入居者への支援を5名体制で行っています。ただし、自宅再建等が進み、令和2年度には10名程度の入居者になる見込みであるため、

今後は、仮設住宅退去後の支援も含めて、引き続き見守り等の支援を行ってまいります。」との答弁がありました。

また、**委員**より、「山田保育園の大規模改修に向けたトイレ改修工事の詳細は。」との質疑があり、**福祉課長**から、「トイレの洋式化を目的として、子ども用4ブース、大人用1ブース、小便器4箇所を設置します。今後の大規模改修については、

屋根、壁、配管等、10年20年の利用を見据えた計画を考えています。」との答弁がありました。

以上のような審査の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第33号「令和2年度阿蘇市後期高齢者医療事業特別会計予算について」

委員より、「広域連



山田保育園トイレ

合への納付金増額の理由は。」との質疑があり、**ほけん課長**から、「医療費の伸びと診療報酬改定等により、令和2年度の保険料について、均等割が4万7,900円から5万6000円に、所得割が9,26パーセントから9,95パーセントに8年ぶりに増額改定されたことが主な理由です。」との答弁がありました。以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第39号「令和2年度阿蘇市病院事業会計予算について」

委員より「3名の常勤医師の雇用契約はどうなっているのか。途中で

中の退職は無いのか。」との質疑があり、**医療センター事務局長**から、「雇用期間が1

年間となっており、年度途中での退職はありません。」との答弁がありました。

また、別の**委員**より、「常勤医師の10名体制は今後維持されるのか。」との質疑があり、**局長**から、「令和2年度は、年間を通して維持できると思っています。3年度以降については、人事異動や個人的な事情がない限り、少なくとも在職の先生方には引き続きお願いし、更にこれに満足することなく、医師の招へい活動を行い、増員していく予定です。」

との答弁がありました。以上のような審査の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上が、文教厚生常任委員会に付託された案件についての報告です。

経済建設常任委員長報告

経済建設常任委員会に付託されました案件の主なものについて報告します。

委員長 五嶋義行

議案第18号「阿蘇内牧ファミリパーク「あそ☆ビバ」条例の一部改正について」

委員より、「バッテリーカーに事故等があった場合は、どのような対応になるのか。」との質疑があり、**まち**

づくり課長から、「指定管理先で準備される保険と、市で掛けます。総合賠償保障保険で対応します。」との答弁がありました。

以上のような審査を経た結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

議案第21号「令和元年度阿蘇市一般会計補正予算について」

農業委員会所管分

委員より、「農地流動化等推進事業費に関連して、阿蘇市はどのような現状なのか。」との質疑があり、**農業**

委員会事務局長から、「現在の農地流動化の状況としては、農地を売りたい、貸したいという方は多くおられますが、対して、買い手や借り手が少ないというのが現状です。」との答弁がありました。

農政課所管分

委員より、「阿蘇火山防災園芸対策事業補

助金については、竹田市令和2年度一般会計当初予算で活動火山防災営農施設整備事業として1億5,800万円予算に計上されているが、阿蘇火口から遠い自治体に国庫補助が適用されることに矛盾を感じる。なぜ、大分県にはあつて熊本県にはないのか。」との質疑があり、**農政課**

長から、「委員の意見を受けとめまして、早々に熊本県に確認させていただきます。また、平成30年に県が策定しました防災営農施設整備計画の見直しを含め、引き続き、阿蘇地域の町村と連携し、強力に要望を行って参ります。」との答弁がありました。

まちづくり課所管分

委員より、「夢の湯の供用開始はいつになるのか。」との質疑が

あり、**まちづくり課**長から、「工事の完了は7月末までを予定しており、8月の供用開始を目指します。」との答弁がありました。

住宅の規模と完成予定は。」との質疑があり、**住宅係**長から、「今回は、2棟、21戸。最終的には5棟、68戸の整備を計画しています。この2棟分は年度内完成を予定しています。」との答弁がありました。また、別の**委員**より、「環境共生基金事業費の負担金補助及び交付金について、令和元年度補正で440万円を減額しており、令和2年度当初予算で590万円計上しているが、

議案第28号「令和2年度阿蘇市一般会計予算について」

住環境課所管分

委員より、「赤水西



赤水西住宅



あそ☆ビバ
バッテリーカー

来期見込みはどのよう
に考えているのか。」

との質疑があり、**土木
部長**から、「せっかく
の基金であります。多
くの市民の方々に使用
していただけるよう、
現在、小中学校の教職
員と連携をとり、子供
たちの授業の一環とし
て取り組めないかの協
議を行っています。」
との答弁がありました。

建設課所管分

委員より、「阿蘇の
未知を考える女性の会
補助金に伴う視察研修
については、多くの
方々が参加できるよう
な研修を。」との意見
がありました。

また、**委員**より、「道
路維持工事に関し、工
事の竣工検査は、請負
業者に対する指導や、
手直しなどの指摘を
しっかりと行うようお願い
する。」などの意見
がありました。

農政課所管分

委員より、「有害鳥
獣駆除対策について、
隣接する竹田市との県
境の効果的な対策はど
うのようになっているの
か。」との質疑があり、
農政課長から、「竹田
市、阿蘇市の両猟友会
との意見交換会を数回
にわたって実施してお
ります。その中で、11
月から3月までの期間、
試行的に県境を越えて
共同狩猟するなどの対
策案を竹田市、阿蘇市
ともに統一見解を持っ
ていますので、今後は、
熊本・大分の両県知事
に対して捕獲許可の要
望の実施に向けて、両
市で協議を進めてまい
ります。」との答弁が
ありました。

観光課所管分

委員より、「サイク
ルツーリズムについて、
専用道路を指定するな

どの安全対策は。」と
の質疑があり、**観光課
長補佐**から、「熊本県が
阿蘇地域サイクルツー
リズム推進協議会を設
置しましたので、今後、
自転車ネットワーク計
画を策定し、その中で
主要な道路、サイクリ
ングルートを決定。そ
の後に国への支援要望
を行う予定です。また、
指定されたルートにお
いては、ブルーライン
の設置や道幅を若干広
めるなどの事業も検討
しています。」との答
弁がありました。

まちづくり課所管分

委員より、「ふるさ
と応援寄附金について
は、総務省からの通達
もあっているが、多く
の方々が、より魅力的
に感じるような返礼品
の検討を。」などの意
見がありました。

また、別の**委員**より、
「熊本移住支援補助金

の詳細な説明を。」と
の質疑があり、**まちづ
くり課長**から、「移住
支援補助金は国の補助
金制度になります。東
京23区から阿蘇市に移
住される方、また東京
23区に勤務をされてい
る方で阿蘇市に移住さ
れる場合が対象になり
ます。ただし、単なる
移住だけでは補助要件
に合いませんので、熊
本県が作成した就業支
援のマッチングサイト
に登録されている企業
に就職して、阿蘇市に
住まわれる場合が1世
帯当たり100万円を
補助するという内容に
なります。県からの調
整を経て、今回、3世
帯分の300万円を計
上し、4分の1を市が
負担するものです。」
との答弁がありました。

以上のような審査を
経た結果、本案は原案
のとおり可決すべきも
のと決定いたしました。

議案第29号「令和2
年度阿蘇市阿蘇山観
光事業特別会計予算
について」

委員より、「草千里
交通事故対策支援金等
については、以前から
の補償案件であるとし
ても阿蘇市の財政状況
も踏まえ減額などの措
置も必要であると思わ
れる。先方にも少しづ
つ協力していただくと
うな、丁寧な申し入れ
も必要と思われるが。」
との質疑があり、**経済
部長**から、「委員の意
見を踏まえ、今後、協
議を進めて参ります。」
との答弁がありました。

以上のような審査を
経た結果、本案は原案
のとおり可決すべきも
のと決定いたしました。

議案第38号「令和2
年度阿蘇市水道事業
会計予算について」

委員より、「老朽管
布設替えについて、布
設してからの経過年数
は。」との質疑があり、
水道課長補佐から、「場
所ごとに経過年数は異
なっていますが、ほと
んど30年から40年経過
しています。40年経過
した管は耐用年数も過
ぎていきますので、経費
を抑えるために舗装計
画に合わせ、優先的に
整備を進めるような計
画となっています。」
との答弁がありました。

以上のような審査を
経た結果、本案は原案
のとおり可決すべきも
のと決定いたしました。

以上が、**経済建設常
任委員会**に付託されま
した案件についての報
告です。

